

要請番号（JL22418B32）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ドミニカ共和国	I103 福祉用具		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

経済企画開発省

2) 配属機関名（日本語）

シバオリハビリテーション財団
NGO

3) 任地（サンティアゴ県サンティアゴ市） JICA事務所の所在地（サントドミンゴ特別区）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 3.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先の財団は、ドミニカ共和国のリハビリテーション分野において比較的大規模に活動しており、同国第二の都市サンティアゴを拠点として近隣に2つの支部を展開している。同財団は、言語療法、理学療法、作業療法等を組み合わせ総合的なリハビリテーションサービスを提供し、障害のある方の生活の質の向上やバリアフリー社会の実現を目指している。本配属機関は、義肢・装具を製作する部署を持ち、経済力が乏しい層でも手が届く価格帯で、患者の経済状況によっては無償で、義肢・装具をオーダーメイドで製作・提供・保守している。同財団の職員数は100名、年間予算は170万米ドル。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国には義肢・装具の製作を体系的に学ぶ正規教育機関(大学や専門学校等)が無く、優秀な義肢・装具の製作技師が慢性的に不足している。その一方で高まるリハビリテーション分野のニーズを背景に、患者への負担が少ない比較的手頃な価格の義肢・装具へのニーズは年々高まっている。本配属機関では、過去にJICAボランティアが技師として活動していたが、自力で技術や知識をアップデートする、製品の質を改善・維持するまでには至っていない。本配属機関が支援する層(障害をがあり、経済力も乏しい層)にとって、義肢・装具の適合調整や低品質による保守等のために、何度も本配属機関を訪れることは大きな負担となっている。体の成長や変化、生活事情等を考慮した質の良い義肢・装具を提供することは、重要な課題である。以上の背景から、義肢・装具の製作指導を行うボランティアを要請するに至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

本配属機関の担当者と協力して、以下の活動を行う。

1. 現在の材料、設計方法、製作方法を評価し、改善を指導する
2. 義肢・装具の品質向上のため、品質評価指標を見直し、改善を指導する
3. 体系的な知識が不足している技師らに対して、ワークショップ等を通じ、技術指導を行う

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

義肢・装具の製作機器・器機(電子窯、吸引器、研磨機、集塵設備、ミシン、ドリル、ボール盤等や一般的な工具全般)、一般事務用品

4) 配属先同僚及び活動対象者

同部署責任者、男性、30代、マネージャー
カウンターパート、義肢・装具製作室の責任者(現在求人中)
義肢・装具製作室の技師4名(見習い中も含む)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験に基づく活動が不可欠のため

[参考情報]：

- ・義肢装具士免許

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（18～34℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、常時安定しているわけではない。